

# VIEW

## 「相互チェックの喚呼」は安全のため?!

### チェック用紙が不備でもOK! 車両課優先? 田中車両部長優先? 7月1日実施が優先?!

会社は、6月16、17日に「後確認の重要性」の教育を行いました。その中で会社は、今後「台車の相互チェック」時に「B担とC担が喚呼し相互チェック」を行うよう説明をしました。

しかし2日間の「教育」に参加した社員から多くの疑問が出されました。その中に「チェックシートの不備があるが問題ないのか」という疑問がありましたが、会社は「決まったことなのでやってもらいます」と不備があっても強行実施することを宣言していました。

教育の中で会社は、7月1日以降「安全のためにしっかりと相互チェックで喚呼をやってもらいます」「一つひとつチェックはしっかりやってもらいます」とチェックの重要性を説明していました。しかし、チェックの重要性を言うならヨーダンパーのチェック項目がありません。会社は、チェックシートの不備をわかっているがそのまま使用させようとしています。矛盾していて、おかしとしかいいようがありません。

17日の終了点呼前に、疑問に思っていた社員が改めて管理者に聞きました。「700系、C編成のチェックシートにヨーダンパーのチェック欄がありません。」「一つひとつ確実に喚呼をして下さいというならチェック欄がないと出来ません。チェックシートを変更するのですか」と聞きましたが、管理者は「変更はします。でも車両課と調整をしないといけないので時間がかかるかもしれません」「それまで、今のチェックシートを使って下さい」とやっぱりチェック欄に不備があっても関係ない。7月1日スタートが優先で、車両課が大変だからしょうがないという考え方でした。「チェックが重要」と言うならチェックシートの不備を訂正すべきです。時間がかかるなら7月1日を延期すべきです。

そもそも「台車の相互チェックの喚呼」は、「安全」のためでなく、4月26日に「これからは声だしをしてもらう」と訓辞を行った田中車両部長にアピールするためのものであり「安全」はどうしてもよいということなのです。

JR東海労大交両分会は、現物チェックがおろそかになる「声出し喚呼」には反対です。